令和6年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく学生への回答書

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
<p>令和6年11月11日</p> <p>令和6年11月13日</p>	<p>CHAmmitでは2グループに分かれて各々で議論がなされたこともあり、情報共有および意見の集約、さらに学部の現状報告を行うために意見交換会の場を設けることにいたしました。そこで、参加者14名（CHAmmit運営の学生スタッフも含む）に対し、意見交換会の日程調整を行いました。その結果、全員が一緒に集まれる機会がなかったことから以下の2日に分けて開催しております。なお、学生の参加を優先するため、教職員側はCHAmmitに参加した教員2名と、現状説明のため教務課職員3名が意見交換会に参加しております（下記の人数は学生のみ）。</p> <p>11月11日(月) 4限 (14:40～16:10) 8名</p> <p>11月13日(水) 5限 (16:20～17:50) 3名</p> <p>※参加できなかった学生もメールで情報共有を行い、意見をもらっております。</p> <p>上記の意見交換会で集約された提案内容を、教員3名と職員3名にて検討し、関係各所にて検討いただき、下記の提案書への回答を作成いたしました。</p>

2 生産工学部から学生へのメッセージ

<p>学生FD CHAmmitによる学部提案書は、今回で5回目になります。様々な授業改善に関するご意見をご提案頂き、ありがとうございます。この内容については、本学部FD委員会において報告を行い、FD委員会の委員とCHAmmitの参加者を交えた議論を行いました。また、提案書の内容を各項目に整理し、対応内容を学部の各委員会や各課で検討し、対応内容を考えました。特に要望のあったカラーでの印刷については令和7年度から可能になる予定です。学生の皆様から、授業の動画配信の要望があることを知り、後期の授業から早速、動画での配信を行うようにした教員もいると聞いております。学生の皆様から頂いたご意見を広く共用し、よりよい授業環境となり、学生の皆様にとって有益な大学生活となるように教員一同努力してまいります。学生の皆様からの積極的なご意見をお待ちしております。</p>

3 学部提案書の対応について

「学部に見る授業」の提案について

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
<p>【自ら学ぶ】</p> <p>授業および教材の動画の配信 (内容によっては受講者以外も視聴可に)</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要となるアプリケーションなどの解説 復習のため(苦手な人のフォローにも) 自己研鑽のため(単位とは別に) 実施されている先生の手法を共有する 就職活動の早期化への対応 			○	著作権等に問題のない範囲で公開となります。授業担当教員個別での対応となりますので、授業担当教員にお問い合わせください。
<p>【自ら学ぶ】</p> <p>スライド資料などの配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ノート作成について行けず、理解度に差が出る 実施されている先生の手法を共有する 	○			著作権等に問題のない範囲で公開となります。授業担当教員個別での対応となりますので、授業担当教員にお問い合わせください。
<p>【自ら学ぶ】</p> <p>授業内にコミュニケーションをとる時間を設ける</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見交換で理解を深める(ラーニングピラミッド) 		○		科目により運用が異なるので、共通の運用ではなく、科目の特性に合わせた検討になると考えております。

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
【自ら学ぶ】 シラバスに沿った授業運用 <ul style="list-style-type: none"> ・自己学習の妨げになっている ・不用意な内容の脱線 ・教科書の役割の明確化 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 指定した書籍の授業内での必要性を説明する ▶ 授業資料作成により教科書頼りにしない ・レポートのみ記載なのに試験実施など評価の齟齬 		○		新年度のシラバス作成にあたり、シラバスの位置づけの周知及び内容の改善の検討を行います。
【自ら考える】 フィードバック方法の検討及び共有 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の省察に寄与する ・良い例（煩雑なフィードバックを求めてはいない） <ul style="list-style-type: none"> ▶ 各試験での点数開示 ▶ 試験などで間違えた箇所へのアドバイス ▶ レポートなどに対して良い点や悪い点のコメント 		○		フィードバックについて、すでに意見をいただいておりますが、いただいたポイントを重点として、継続して議論してまいります。
【自ら考える】 実世界との関りを示した興味関心を持たせる授業設計 <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師（現役実務者）による講義 ・フィールドワークの活用 ・3年生の生産実習とは別に1，2年生でも ・過去の問題だけでなく、リアルタイムの問題も 	○			既に生産工学特別講義を始めとする科目で講演いただいたり、企業等に勤めている非常勤講師として授業を担当いただいたりしております。継続してより多くの科目を展開できるよう検討いたします。
【自ら考える】 早い段階でのものづくり経験 <ul style="list-style-type: none"> ・生産実習前の1，2年生での経験 ・ユーザーを意識したものづくり 			○	現在の専門科目ですでに実施しているかどうか調査をいたします。すでに実施している科目については、企業等に勤めている非常勤講師の方と協力して、ユーザーを意識した内容にアップデートいたします。
【自ら道をひらく】 学生生活の総括的なものづくり <ul style="list-style-type: none"> ・学部で学んだ経験を生かせる機会（卒研とは別に） ・お膳立ての無いリアルなものづくり 			○	学科ですでに実施している取り組みがあるか調査をいたします。その中ででてきたアイデアをベースに議論してまいります。
【自ら道をひらく】 チームで課題を解決する授業（TBL型授業） <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション力や協働力の育成 ・メンバーの相互評価の導入（フリーライダー対策） ・グループの少人数制（フリーライダー対策） ・グループ分けの工夫（フリーライダー対策） 			○	学部のFD研修会などで取り扱うとともに、対応を検討してまいります。
【自ら道をひらく】 他学科の6単位を修得できるはずが、排除する先生もいて履修できない （知識の積み上げなどの内容的な問題ではなく）	○			本学部の制度について、今一度教員に周知いたします。また、他学科の方の受け入れが困難な科目に関しては、時間割の履修制限に記載するよう改善を検討いたします。

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
【自ら道をひらく】 学生間の上下の関りを持てる授業 ・教養科目のような他学科ではなく、専門教育科目で同じ学科の先輩と知り合いたい ・授業や進路などで相談できる相手を多く作りたい			○	本学部では、上級生と学修・学生生活・就職について相談できる制度がございますので、ご活用願います。
【その他】 模擬授業などによる授業の質向上の活動 ・授業時間の有効活用（雑談などに流れない）		○		学部のFD研修会などで取り扱うとともに、対応を検討してまいります。
【その他】 同一科目での教員間の情報共有 ・授業内容や試験などで不平等が生じている ・評価方法が異なっている	○			同一科目では到達目標は統一しておりますが、その到達までの方法については、教員ごとにさまざまな方法を工夫して授業を行い、評価していただいております。ただ、授業内容やレベルが著しく相違がないかは調査いたします。
【その他】 試験などの評価に関わる回の欠席対応 ・正当な理由で休んだ授業の救済措置がない科目も	○			欠席の手続きや対応について、今一度教員に周知させていただきます。
【その他】 カラーコピー機やカラー印刷機の設置 ※昨年度も提案（改善状況を知りたい） ・カラー印刷での提出が求められるため不便 ▶既存機材のリプレース ▶ITセンターでの個人利用（ポイント利用も含め）	○			現在、キャンパス内に学生用ネットワークプリンタを設置しておりますがカラー印刷はご利用いただけません。昨年度の学生FD CHAmiT学部提案書でも要望もあり、検討の結果、令和7年度からカラー印刷も可能とする予定です。印刷可能枚数は現在検討中です。なお、プリンタではなくコピー機の設置については、以前、有料で使用できるコピー機をキャンパス内の複数個所に設置しておりましたが、利用件数が少なく採算がとれないため撤去となりました。

※令和7年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。